

補習校便り

# トゥールーズ日本語補習授業校

2012年6月号

## 学習発表会

5月13日(日) SALLE DES FETES LABEGEにて発表会が行われました。

各クラスごとに 歌、かさこ地蔵の音楽劇、朗読、たいそうなど 日ごろの学習の成果をお父さんとお母さん達に見せて 子供達は舞台の上でうれしそうでした。フランス人パパ達にカルチャーショックをうけさせた高学年3人娘の歌と踊りや 先生達の物まねと いつもと違った新しい発表もありました。

個人発表では4歳児のかわいらしい日舞に 高学年のギター、バイオリン、ピアノ演奏、ミュージシャンパパの奏でるオキシタン音楽に耳を楽せさせてもらい 毎年恒例のルカくん一家の歌は ますます芸に磨きがかかり 皆を笑わせてくれました。最後は お笑い担当保護者グループが ドリフの早口言葉で華々しくしめくくってくれました。

発表会の後は 楽しみにしていたおやつの時間です。手作りお菓子がずらりとならび 洋菓子はもちろん羊羹、大福、ういろうと どれも食べたくなるような すばらしくおいしいものばかりでした。

大人も子供と一緒に 楽しくお菓子をいただき 行事係、音響、司会、会員皆さんの協力のおかげで 今年の学習発表会も 楽しく終えることができました。

今年もタキイフランスさんより、協会会員に日本の野菜の苗をいただきました。日本のきゅうりを食べることができると喜んでます。ありがとうございました。





## クラスの様子

今期の最終号ということで 先生方から1年間の感想をいただきました

一年を振り返って

子供たちが日増しに成長していくのを感じながら、授業をしていました。

日本語を楽しく学んでくれるように、早口言葉を練習したり、読み聞かせもイメージを先に何枚か見せて、話の内容を想像させるインテレクチュアルリーディングを取り入れたり、子供たちが主人公になった文章カルタを制作しました。大きな日本地図を教室にはって、ビデオを見せて、それがどこの県の物かをあてさせるということを長い間取り入れました。

日本にはこういう所があるんだよ。いつか行ってみたいね。といいながら、例えば、北海道の雪祭りの氷の彫像の映像を見せて、北海道の場所を色えんぴつで塗っていくということをしました。ひらがなの書き順色別表は常にクラスに張ってあったので、子供たちが見たい時に見れる環境作りを心がけました。日本で日本語を学ぶ子供たちとフランスで日本語を学ぶ子供たちには、同じ教材を提供出来ない、同じ方法で教える事は出来ないと思いました。いつか子供たちが大人になり、日本語が話せて良かったと思える日が来ると思います。二年間の間でしたが、本当に良い体験が出来たと思います。子供たちと一緒にたくさんの事を考え、学びました。ありがとうございました。

### ラベージュ高学年 国語科

教科書が変わったこともあり、前年度は教科書2巡目になってしまう子もいたので、教科書だけにとらわれずにほかの教材もまぜて勉強しました。

宮沢賢治の「注文の多いレストラン」や新美南吉の動物がでてくるお話。みんなとても興味をもって授業に取り組んでいました。

その他に短歌や俳句などを勉強し、自分で作ってみたりもしました。

国語科を楽しんでもらえるよう、自発的に勉強に取り組んでもらえるように授業を工夫しました。これからも楽しく国語を学んでいこうと思っています。

### 生活科

授業の最初に漢字テストを行い、着実に力を付けてきています。読める漢字が増えたことで、朗読や読書の楽しみも出てきました。日本地図で祖父・祖母の住む県を探したり、率先して日本の歴史を学びたいと申し出るなど、日本への興味がかなり高く、そのことが学習の熱意につながり、好循環を産みだしています。また、日本語の習得とは一見かけ離れた算数の学習でも、文章題を多めに出すように配慮し、日本語を使った算数の学習という二重の学習効果をもたらしています。日本の歌では一步踏み込んで、そこから見える“日本の心”を理解してもらえよう努めました。

### ラベージュ低学年 国語科

低学年の国語科は、生徒のレベルに合わせた形で全部で3レベルにわけた複式授業をしていました。

3レベルもあったので、わからないことをきくために「せんせーい！」と一度に何人かの生徒に呼ばれたりして、分身の術を使えたら・・・と何度も思いましたが、今年度は今のところ低学年も高学年も2レベルずつなのでなんとかうまく行きそうです。2年生の生徒は「お話をつくろう」というところで実際に絵本を作ってもらったりしました。今でも新しいお話の絵本を自発的にお家で作って見せてくれる生徒もいて、先生の読書に一役買ってくれています。

1年生はひらがな、カタカナを着実にマスターしていっています。今年は漢字も頑張って行って欲しいとおもいます。

### 生活科

授業の最初には希望者に漢字検定テストを毎週行い、他の生徒にはレベルに合わせた学習プリントに挑戦してもらいました。自宅での予習もあり、生徒は確実に実力をつけており、自分の日本語に自信を持つことにもつながっているようです。敬老の日について学習した後、祖父・祖母宛の敬老の日カードを書いたり、12月初旬の手紙の書き方を勉強した日

には、サンタさんへの手紙を書く等、より実践的な授業を行うことで日本の文化により関心を持ってもらうよう努力いたしました。紙芝居や絵本の読み聞かせでは、みんな目を輝かせて熱中し、授業の終わる時間を忘れるほどでした。また、日本の歌にも親しみ、まだ字の読み書きの苦手な児童も皆と一緒に楽しんで歌い、踊りました。

### ラベージュ3時間目

成長がすごく感じられる一年でした。この年令の子供たちは、こんなにも早く色々なことができるようになるんだ！と私も感動しました。難しい折り紙でも一人で折れるようになったり、前年は途中でルール無視したりすることもあったのですが、ルールを守ってゲームをすることもできるようになりました。少しずつひらがなの練習に入り、「お勉強」も増えてきましたが、この調子で頑張っていて欲しいです。

### 市内校午前

最初に比べて生徒がだんだん増えてきて、教室が狭く感じられるほど賑やかになりました。歌を歌ったり、踊ったりすることが大好きで、みんな「このおうたがうたいたい」とか「このダンスがしたい」とか積極的にクラスに参加してくれました。

教室には机や椅子や物入れなどがあり、ラベージュ校とくらべると、あまり動きまわるゲームなどはできなかったんですが、そのかわりお部屋でも遊べるようなゲームをしたり、ラベージュよりもお勉強要素を少し増やしました。ひらがな、もう読める子もいるんですが、少しずつ楽しく文字を書くことを学んでいって欲しいです。

### 市内校低学年国語

教科書（一年生上巻）に則って授業を行いました。

9月～11月上旬はひらがなを重点的に練習。「ひらがなれんしゅうちょう」を作り、なぞりがきから始め、次第に自分で書けるようになりました。マスターしてきたら、ひらがなを使ったしりとりなどに挑戦、ほぼ間違いなく書けるようになりました。11月下旬～は、生徒のレベルに合わせて、カタカナを書く練習をしました。1/7の書初めも良い効果を生んだようで、みんな字を書くのが好きになったようです。特に筆ペンで書くことが大好きになりました。

また、時には、教科書を離れ、日本の昔話などを読み聞かせし、感想を言ってもらうなどしました。読み聞かせの時は皆、いつもより集中して聞いており、簡単なお話なら内容も、即理解できるようです。

さらに、話すのが苦手な生徒がいるため、早口言葉や滑舌のよくなるような発音の練習のプリントを作成し、楽しみながら読んでもらいました。おかげで、最初内気だった生徒も授業での発言が増えてきたように思います。今後もこの調子で頑張ってもらいたいとおもいます。

### 市内校低学年生活

生活科では、遊びや日本文化、日本の歌などを通じて、日本語力の強化や、日本の文化に触れることに重きを置きました。主な物としては、それぞれの季節のモチーフをテーマにした折り紙や工作、日本語の言葉を使ったリズム体操遊びなど（学習発表会の演目など）、昔話や紙芝居の読み聞かせ、筆ペンによる年賀状の作成。また、理科の実験などにも挑戦、物の摩擦によって起きる静電気について学びました。さらに、人間の体の中の仕組みについて、主な臓器がどんな働きをするのかなどについても学習、また、パズルを使って日本地図なども作ってみました。どの項目も皆、とても興味深く取り組んでくれて、良かったと思います。

### 市内校高学年国語

前半は、国語の教科書2年上を中心に、また、年明けからは、レベルアップを兼ねて3年生の教科書に少しずつ入りました。急にレベルアップをしたせいか、漢字や、日本語の表現などの点で、難しさを感じたようでしたが、それでも、どの生徒もやる気満々で取り組んでくれました。遊び心を入れた試みとしては、2年上の教科書に出てくる「黄色いバケツ」を使って、その一部を取り上げ、物語の解釈、登場人物の気持ちなどを考えながら、小道具を使って、一人芝居に取り組んでもらいました。また、絵を見ながら、その絵に出てくる漢字を使って、想像力を働かせながら短い物語を

作ってみるなどの文章力の強化なども行いました。漢字検定も、個人差はありますが、それぞれのペースで、進んでおり、現在、2年生、6年生の漢字、読み、書きの合格を目指し、皆頑張っています。

### 市内校高学年生活

生活科は、国語で学んだ日本語力を使い、いろんな課題に挑戦、日本の季節の伝統行事についての由来、日本の伝統芸能（歌舞伎など）、歴史（主な項目をまとめた年表作り）、地理などの学習、加えて身の回りの物を使って、教室でできる理科実験（水に浮くもの、沈むもの）などを行い、理科のレポートなどを作成。さらに、時事問題の記事の読解などにも挑戦、ユーロの危機についてなども学びました。また、日本の昔話などにも親しみ、ミュージカル「かさ地蔵」（学習発表会演目）に、皆で取り組んだり、季節に応じた日本の歌なども時折、歌ったりしました。各課題を通じて、クラスの一体感のようなものが生まれたのが、とても良かったと思います。

### 市内校生活科（低学年、高学年合同クラス、5月～）

5月のバカンス明けから、低学年、高学年合同となった生活科では、まず、子供の日にちなんで、アトリエ折り紙で、こいのぼりを作成、低学年の生徒もいつもより多少難しい折り紙でしたが、高学年クラスのお兄さん、お姉さんたちに手伝ってもらいながら、なんとか完成することができました。また、皆で、早口言葉に挑戦、早口言葉とは、どういうものか、また、何のために存在するのか、それから、フランス語にも早口言葉はあるのかどうか、などを皆で話し合った後、ドリフの早口言葉カラオケに合わせながら楽しく練習をしてみました。また、俳句についても学び、最後に、今の季節に合わせた季語を用いて、俳句作りにも挑戦してみました。低学年クラスの生徒にとっては、高学年クラスの生徒と一緒に学ぶことが、かなり刺激となっているようです。



## “日本に敬意を捧げる夕べ”

5月29日にToulouseのライオンズクラブ（LIONS CLUB）が主催する宴席、“日本に敬意を捧げる夕べ”がありました。

当協会からは協会長の発表『日本で仕事をするについて』と、運営委員長が宮沢賢治の詩『雨にも負けず』を書道実演し、書はライオンズクラブに寄贈いたしました。

在マルセイユ日本国領事館からは、塚原総領事がいらっしやり震災に関するご説明やご挨拶をされました。

在日本国大使館より片岡商務参事官もお越しになり発表されました。200名を越える方が集まり、日本への関心の高さが伺えました。



## お知らせ

## **\* 日本料理教室**

6月25日(月曜日)に Speak' eat と協同で初の日本料理教室を主催する予定です。興味がありそうなフランス人のお友達にお伝えください。

**領事館からのお知らせ** 在外選挙については別紙の案内をご覧ください

e-mail [af31jt@gmail.com](mailto:af31jt@gmail.com) website <http://afjt.web.fc2.com/>